

【書く・なぞる】俳句 正岡子規 一

柿食へば 鐘が鳴るなり 法隆寺

いくたびも 雪の深さを 尋ねけり

春や昔 十五万石の 城下かな

糸瓜咲て 痰のつまりし 仏かな

鶏頭の 十四五本も ありぬべし